

令和7年度 志賀町がん検診の内容・注意事項

胃がん検診 (バリウム検査)

検診バスに乗って受診します。バリウム(造影剤)を飲み、検査台の上で体の向きをかえながら胃部のエックス線撮影をし、胃の中を観察する検査です。胃がんは50歳代からかかる確率が増加し、我が国のがんによる死亡原因の上位に位置しています。

★ 注意事項 ★

- 検診前日の夜9時以降は飲食をせず、入れ歯安定剤の使用も止めておいてください。
- 検診当日は朝食・タバコ・アメ・ガム等も控えてください。
(検査1時間前までならコップ1杯(200ml)程度の水を飲まれても構いません。)
- 何らかの疾患をお持ちの人は、事前に主治医に胃バリウム検査受診の可・不可、検査当日の内服薬の服用等をご確認のうえで、慎重に受診をご検討ください。

※高血圧・心臓病など主治医から指示されている薬は、検査を受ける1時間前までにコップ1杯程度の水で内服してください。ただし、糖尿病で治療中の人は、検査当日の朝、糖尿病の薬の服用やインスリン注射をしないでください。内服薬の服用やインスリン注射に関しては、事前に主治医にご相談ください。

★ 胃バリウム検査による合併症および事故防止のため ★

下記に該当する人は胃バリウム検査を受けることができません。また、便秘症の人はバリウム検査後に便の排出が遅れることで腸閉塞や腸穿孔など重篤な合併症を起こす恐れがあるため、胃バリウム検査はお勧めできません。

- | | | | |
|---|-------------------------------|---|------------------------------|
| × | 検査前夜、9時以降に飲食した人 | × | バリウム製剤や下剤にアレルギーがある人 |
| × | 検査当日を含み3日以上便秘が続いている人 | × | 検査当日、糖尿病の薬を服用またはインスリン注射をした人 |
| × | 意思疎通が困難な人、寝返り回転が困難な人 | × | 透析中、慢性腎疾患、心疾患で水分制限がある人 |
| × | 日常的に食物や飲物が飲み込みにくく、むせやすい傾向にある人 | × | お腹の手術を1年以内にした人 |
| × | 体重が135kg以上ある人 | × | 腸閉塞、腸捻転の既往がある人 |
| | | × | 現在、消化管系の炎症性疾患・潰瘍性疾患の治療をしている人 |

胃がんリスク検査 (血液検査)

血液検査で、胃粘膜に生息するピロリ菌の感染の有無と、胃粘膜の萎縮度(ペプシノゲン判定)を調べて、胃がんなどの胃疾患にかかるリスクを判定します。胃がんそのものを発見する検査ではありません。

※胃バリウム検査か胃がんリスク検査のどちらかを選択して受診してください。

肺がん・結核検診 (胸部エックス線検査・喀痰検査)

検診バスに乗り、胸部のエックス線撮影を行う検査です。肺がんは死亡数が男女あわせて一番多いがんです。40歳以上の人は肺がんの早期発見、65歳以上(特に80歳以上)の人は結核の早期発見のために行います。喫煙(受動喫煙を含む)で肺がんリスクが高まるので注意が必要です。

※喀痰検査は問診の結果、必要と判断された人が対象となる痰の検査です(胸部エックス線検査必須)。